

まくらぎ孔補修用カプセルの施工について

まくらぎ孔補修方法用カプセルは、補修用途および使用するボルトや削孔寸法により使用するカプセルが選定されます。補修用途に適したカプセルを使用し、正しい施工を行ってください。

1. カプセルの種類と施工仕様

ネジ山再生用カプセル（ガラス管タイプ）

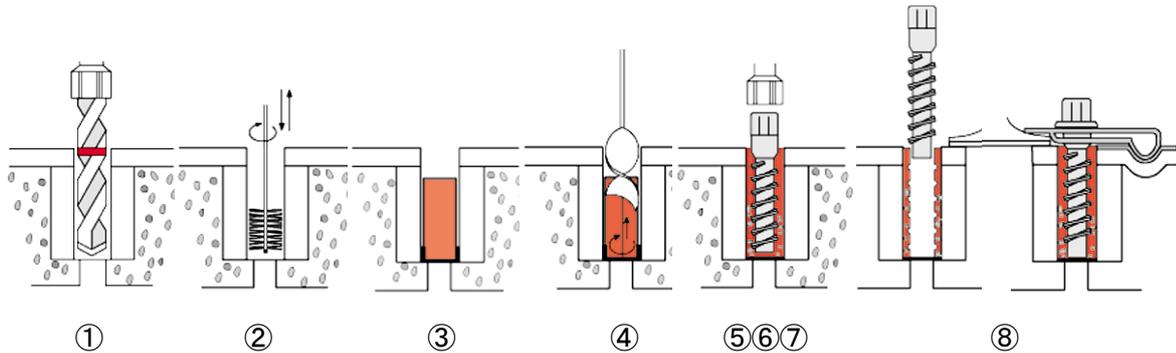
品番	カプセル容量 (cm ³)	カプセル寸法 外径×長さ(mm)	削孔寸法(mm)		使用ボルト
			ビット径	深さ	
RM-23A (S, W, SS)	28	21.0φ×90L	24	100	φ22. 2ボルト
RM-23A (S, W, SS)	28	21.0φ×90L	25	100	φ23. 2ボルト
RM-2213A	42	21.0φ×130L	25	130	φ23.2ボルト新幹線用ボルト

※S：夏用（4月～9月） W：冬用（10月～3月） SS：夏昼用 使用時期を表しています。

※削孔深さは、締結ボルトネジ部の長さにより異なります。

2. 施工方法

ネジ山再生補修方法（まくらぎ埋込栓の一般的な補修方法）



①母材穿孔
PCまくらぎの埋込栓を所定の寸法で削孔します。

②孔内清掃
切粉を専用ナイロンブラシ、フロア、掃除機等で除去し、孔内の清掃を行います。（削孔内に水がたまっている場合は、フロアで飛散させるか、底部水抜き穴から排出します。）

③カプセル挿入
カプセルのキャップ側を孔底側に挿入します。

④カプセル攪拌
カプセルの攪拌は、電気ドリルに装着した専用攪拌金具を用いて行います。（金具の先端が孔底に達した時点で3～5秒程度攪拌し、回転させながらゆっくりと抜き取ります。）

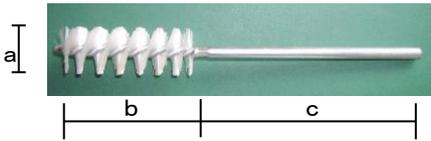
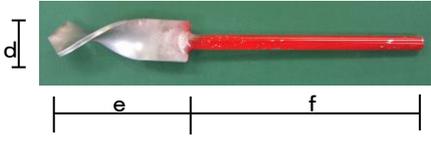
⑤ボルト埋め込み
インパクトレンチにてボルトに回転を与えながら埋め込みを行います（最初左回転にて入込み、抵抗が大きくなってから、右回転にて埋め込みます。）

⑥位置合わせ
樹脂の硬化が始まる前（埋込後即座）に治具を用いて位置合わせを行います。

⑦硬化養生
硬化養生中は、ボルトに衝撃、荷重をかけないようにしてください。（養生時間：30分）

⑧締結装置セット
養生後に専用ボルトを抜き取り、締結装置をセットします。

3. 専用ブラシ、専用攪拌金具

	品番	適用	形状	寸法 (mm)	
A	VP-23K	孔内清掃用回転ドリル装着型ナイロンブラシ		a	30
				b	90
				c	130
B	EK-22K	カプセル攪拌用(回転ドリル装着型)		d	22
				e	80
				f	130

4. 取扱い上の注意事項

- 施工時には、樹脂、ガラス破片等の飛散の恐れがありますので、必ず保護具（眼鏡等）を着用して下さい。樹脂が皮膚に付着した場合は炎症を起こすことがありますので、速やかにウエス等で拭き取った上、石鹼水で洗浄して下さい。万が一、目に入った場合は、大量の水で15分以上洗い、必ず眼科医の診療を受けてください。
- カプセルを火気に近づけないで下さい。
- カプセルは冷暗所に保管して下さい。
- 使用期間は製造日から6ヶ月です。カプセルが破損しているもの、内部の樹脂に流動性がないものは絶対に使用しないで下さい。
- カプセルを廃棄する場合はお問い合わせ下さい。
- 硬化時間内(30分間)は、絶対にボルトを動かさないで下さい。
- 特殊な使用環境（高温等、環境が通常と異なるもの）あるいは、標準外の施工の際はメーカーにお問い合わせ下さい。（この場合、当社以外の判断により生じた取付け不良の責任について日本デコラックス(株)はその責めを負いません。）
- アンカーの使用にあたっては、許容強度の範囲内でご使用ください。
- その他不明な点は日本デコラックス(株)までお問い合わせ下さい。